

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成 25 年 10 月 8 日

和泉市長 あて

団体名 鶴 One フェスタ 実行委員会

代表者名 内田 昭太郎

所在地 和泉市鶴山台

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

1. 事業の名称

つる わん ぶえすた
鶴 One フェスタ

2. 事業の概要

本事業は、新興住宅地として始まった当地域の世代交代が進む中、「故郷として誇れる町づくり」の一環として開催する“お祭り”である。地域およびその周辺に住むの人達の親睦と子供達からお年寄りまでの幅広い世代間交流を図り、その輪を広げて楽しむことを目的としている。

プログラムの内容は、メインテーマとして「地域防災」を掲げ、近い将来予想される大地震等の災害に備えて、非常食の試食や配布、「防災の手引書」などの啓発資料の配布のほか、救命法(AED)の実演を行うなど情報提供と地域コミュニティとしての防災意識の高揚を図っている。また、地域のサークル活動の成果発表の場としても活用している。

お祭りの全体企画は実行委員会が行い、自治会、老人会(鶴寿会)、子供会および周辺地域の有志の方々が各々の担当部署を担う 地域一体型 で運営している。

3. 事業費総額

480,000 円
(うち、対象経費 340,000 円)

4. 交付希望額

170,000 円

5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

6. 添付書類

- (1) 団体概要調書(様式第2号)
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書(様式第3号)
- (4) 収支予算書(様式第4号)
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

| | | | |
|--|--|-----------------------------|---------------------------------------|
| フリガナ | ツルワン フェスタ ジッコウインカイ | | |
| 団体名 | 鶴 One フェスタ 実行委員会 (旧 鶴山台一丁目お祭り実行委員会・平成25年9月名称変更) | | |
| 団体の目的 | 私達が住む和泉市を「故郷として誇れる町」にするために、地域コミュニティの全員が参加し、楽しむことができるイベントを創り、育てる事を目的とする。さらに、このイベントに集う人々の連携を通して、鶴山台一丁目から周辺地域そして和泉市全域への固い「人の輪」を形成し、社会福祉ならびに防災コミュニティネットワークの形成に資する。 | | |
| 市内事務所の所在地 | 〒594-0013 和泉市 鶴山台 | | |
| | 【専用事務所・ <u>住居と兼用</u> ・その他()】 | | |
| | 電話 | | FAX |
| フリガナ | ウチダ ショウタロウ | | |
| 代表者名 | 内田 昭太郎 | | |
| 連絡先 ※この申請について 問い合わせたとき に対応できる方 | (連絡者氏名) ※ フリガナ ニシヤマ カズエ | 電話 | |
| | 西山 和栄 | FAX | |
| 設立年月 | 平成 18 年 4 月 | 主な活動地域 | 鶴山台一丁目 及びその周辺地域 |
| 会報等の発行 | 有(回発行)・ <u>無</u> | 会員数 | 1000人(320世帯) スタッフ 企画 20名、実施 60名 |
| メールアドレス | (代表者 内田のメールアドレス) | | |
| ホームページ | | | |
| 主な事業内容 | “ 鶴 One フェスタ ” の企画 及び 実施 | | |
| 主な活動の実施 | 平成18年に組織し活動開始、第1回“鶴山台一丁目お祭り”を企画・実施した。以後活動を続け、平成22年に事業名称を“鶴 One フェスタ”と改称した。平成23年～25年の「ちよいず」の支援対象事業に選定され、平成26年に第9回目を開催する。 | | |
| 国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載) | 年度 | 名称 | 金額(円) |
| | 平成23年度 | ちよいず (和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業) | 140,000 円 |
| | 平成24年度 | ちよいず (和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業) | 150,000 円 |
| | 平成25年度 | ちよいず (和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業) | 170,000 円 |

※ この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 事業の名称 | つる わん ふえすた 鶴 One フェスタ | |
| 事業の必要性 ※ 別紙添付可 | (事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等) 当初 若さと活気に満ちた当地域も 住民の高齢化が進み、若い世代の人たちへバトンタッチしていく必要があるが、世代間・住民間の交流等が希薄なこともあり、うまく行えていないのが現実である。そういった状況の中、当地域の町づくりを進める上で最も大切な「地域の絆」を育てる必要性を感じ、それを開花させる起爆材の一つとして当イベントを開催する。 (申し込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果) 地域コミュニティの全員が参加し 楽しむことができる イベントが目標である。さらに“鶴Oneフェスタ”から和泉市全域に広げる人の輪を形成することである。 “鶴Oneフェスタ”に集う鶴山台一丁目から、鶴北校区そして和泉市民へと歌体操、よさこい鳴子踊りなどの連携を通して固い「人の輪」を形成し、和泉市における社会福祉ならびに大地震などの災害時に対応できる防災コミュニティネットワーク形成に資することができればと考える。 | |
| 事業内容 ※ 別紙添付可 | (主な対象者) 鶴山台一丁目 及び その周辺地域の人々 (事業実施期間) 毎年 10月下旬から11月上旬の日曜日又は祝日に実施 平成26年度は、11月3日(祝・月)を予定 (事業実施場所) 鶴山台一丁目3号公園 及び 鶴山台北小学校体育館 (問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか) 実行委員会を組織し、事業の全体企画を行う。地域を形成する自治会、老人会(鶴寿会)、子供会および周辺地域の有志の方々が各々の担当部署を担う地域一体型で運営・実施している。 また、事業の運営資金は地域有志からの寄付金を基本にしている。 | |
| 事業スケジュール | 時期 (月) 平成26年 4月下旬 ~10月下旬 (約6ヶ月間) 11月3日 11月下旬 | 内容 事業計画立案・準備 など ・開催日時の決定 ・プログラム内容および実行予算の検討・立案 ・出演者及び関係者との交渉 ・出店内容の検討 ・会場計画、スタッフ役割分担、安全対策等の立案 ・地域への案内及び協力要請 事業の実施 “鶴Oneフェスタ”の開催 事業報告 |

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 鶴 One フェスタ

1. 【収 入】

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 | 積 算 根 拠 |
|------|---------|----------------------|
| 支援金 | 170,000 | あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金 |
| 事業収入 | 30,000 | 模擬店の売上金 (予測額) |
| 自主財源 | 280,000 | 地域住民からの協賛(寄付)金 (予測額) |
| 合 計 | 480,000 | |

2. 【支 出】

(単位：円)

| 費 目 | 金 額 | 積 算 根 拠 (数量、単価等) |
|----------|---------|------------------------|
| 報償費 | 40,000 | 信太中吹奏楽部他出演者謝礼及び参加賞等 |
| 旅費 | 5,000 | 交通費、ガソリン代等 |
| 消耗品費 | 130,000 | 防災啓発用配布品、模擬店簡易食器代等 |
| 食料費 | 9,000 | 会場設営作業要員用飲み物代(60人分) |
| 印刷製本費 | 20,000 | プログラム、案内書チラシ等印刷代(600部) |
| 役務費 | 11,000 | 振込手数料、傷害保険料等 |
| 委託料 | 15,000 | ポン菓子業者出店費等 |
| 使用料及び賃借料 | 20,000 | 運搬用軽トラ及び綿菓子機械 レンタル料 |
| 原材料費 | 70,000 | 模擬店食材費等 |
| 備品購入費 | 20,000 | 模擬店用テント及び備品代等 |
| 対象外経費 | 140,000 | 抽選会景品代、会議費等 |
| 合 計 | 480,000 | |
| 対象経費 | 340,000 | |

※費用は、別表 (第9条関係) に記載されているとおりに記載してください。

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい) ・ (いいえ)

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。